

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和 1 年 6 月 29 日

仕事の内容	狭山保育園運営事業		
担当部署・課長名	課 狭山保育園	係	課長名 越中 洋

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 4	-
【施策名】 児童福祉の推進	総合計画書 (ページ)	59	

予算名	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 3 市立保育園費	事業 2 狭山保育園運営費
-----	---------	-----------	------------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 労働形態、通勤事情等に伴い保育を真に必要とし、狭山保育園に入所している児童	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 保育園在籍園児数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 在園児が安全に狭山保育園で生活を送れる。 保護者が狭山保育園に満足して子どもたちを預ける。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 園児の事故件数 保護者からの苦情件数
	③ そのために何をしましたか。 年間を通じて園児を安全かつ個々の成長に応じた保育を行う。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間保育日数 正規職員保育士数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	92人	84人	82人	
	成果指標	②の数値	件				
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	園児の事故を未然に防ぐとともに保護者の苦情対応を行う。				
活動指標	③の数値	人	47	48	48		

3 経費	事業費(実績)		円	54,175,594	45,286,477	56,867,774	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	44,495,172	36,533,583	48,154,880	
		特定財源	円	9,680,422	8,752,894	8,712,894	
		(うち受益者負担)	円	268,500	248,500	228,000	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	16.0	16.0	16.0	
		所要人数(再任用)	人	2.0	1.0	3.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	132,272,000	132,272,000	131,904,000	
	職員人件費(再任用)	円	6,797,314	2,974,000	9,930,000		
事業費+人件費		円	193,244,908	180,532,477	198,701,774		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に対処するため、児童福祉の向上を図ることを目的に実施した。(昭和49年)
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 保護者の保育に対するニーズ

仕 事 の 内 容	狭山保育園運営事業					
担当部署・課長名	〇	課	狭山保育園	係	課長名	越中 洋

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	在園児保護者からの1回利用の延長保育の利用申請の増加。					
6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
なし						
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	定年退職に伴う正規職員の減。対応する非正規職員を確保できない。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 平成31年度に向けて、正規職員3名を採用した。					
(3)(2)を踏まえた今後の課題						
・保育を維持するうえで、正規職員の定年退職に伴う減少に対応するための補充が困難であり、代替えとなる臨時職員等の確保が困難になっている。						
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	・保育体制の見直し					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
・国・東京都・周辺自治体の動向について情報収集を行う。						
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。				経費	仕事の経費は維持する。